

11月3日（金・祝） オープンクラス開講科目一覧・概要

●英語英文学科

講時	授業科目	担当教員	概要
1	Advanced Writing II C	Jodie Campbell	This class is a continuation of Advanced Writing I. The purpose of this course is to continue to help students improve their ability to express themselves in writing building on the foundations in Reading and Writing I/II. This course teaches students composition skills they need to be successful writers in and out of the classroom, as well as writing more than paragraph-level pieces (e.g., ESSAY WRITING & ACADEMIC WRITING).
2	ことばのしくみ	新井康友	I will be discussing how a word is formed from morphemes. Morphemes are the smallest unit with meaning associated to it, so a word like "books" is made up of two morphemes "book" and "s", each with its unique meaning. I will discuss how English words are morphological structured.
3	コミュニケーション学 概論 B	小山哲春	本科目は社会行動科学の 1 分野としてのコミュニケーション学の基礎を理解し、人間のコミュニケーション活動の課程と影響について理解を深めることを目的に、コミュニケーション学の諸分野である記号論、コミュニケーション哲学、対人コミュニケーション、関係コミュニケーション、グループコミュニケーション、社会的影響、メディアコミュニケーション(ジャーナリズム)、言語コミュニケーション、非言語コミュニケーション等について、その基礎理論を概観します。
	専門講読 I b (グローバル英語コース 授業)	大川淳	本科目では、20 世紀中期に活躍したアルメニア系アメリカ人作家 William Saroyan の短編 “Laughing Sam” を読みます。主にテキストの分析を、ディスカッションを交えながら行います。最終的に批評的な視点で物語を考察します。
4	Academic Writing II B	Jodie Campbell	The objective of this class is to acquaint students with the specific skills used for writing academic research papers. As many Notre Dame students study abroad, one additional purpose is to prepare them for writing assignments made by foreign teachers in foreign countries.

●人間文化学科

講時	授業科目	担当教員	概要
3	日本語 コミュニケーション	平野美保	口頭表現に関する基礎の理解と技能を高めることを目標にした授業です。そのために人前で話すことに慣れ、口頭表現に関する基礎技法を習得し、よりよいコミュニケーションについて考え、普段の生活に活かしていきます。
	典礼音楽特講	久野将健	パイプオルガンはヨーロッパを中心としてキリスト教と共に発展してきた歴史があります。この授業ではパイプオルガンの歴史、構造、作品を学びながら、更にキリスト教典礼におけるオルガンの役割についても考えてみたいと思います。

4	現代出版事情	鎌田均	電子出版などの動きにより、出版の成り立ちも今後大きく変わりつつあります。この授業では、出版の成り立ちと現代的な実情について検討していきます。また、「マンガ」といった日本独特の出版形態についても理解を深めます。（オープンクラス当日は、現代の読書形態について扱います。）
---	--------	-----	---

●福祉生活デザイン学科

講時	授業科目	担当教員	概要
2	食生活概論	加藤佐千子	実物大の料理カードを使用して朝・昼・晩の献立を作る体験活動を行います。活動を通して、人は「なぜ」その食物を選択するのかについて考えます。栄養バランス結果をもとに献立を振り返り、食選択と健康の関係を考えます。
	フードコーディネート論	藤原智子	「サービスとマナー」をテーマに、もてなす側、もてなされる側の双方が知っておくべき各国料理の様式とプロトコル、食事のマナーについて解説します。また、日常の食卓でも使えるテーブルコーディネートの技法を実践的に紹介します。
	住居製図Ⅱ	中村久美	設計現場では、パソコンCADで製図を行います。本授業はそのCADの操作を学びます。同時に作図を通じて、建築構造や空間、設備のスケール感も養います。当日の授業では、簡易なマンション図面を描いてみます。
3	福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ	牛田好美他	本演習は、福祉生活デザイン基礎演習Ⅰを通して得た基礎的スキルを踏まえて、「食べる」「装う」「住まう」「支える」をテーマとした学内での少人数での体験グループ活動を通して、生活と福祉に関わる幅広い知識と基礎技能を身につけることを目的としています。
4	障害者福祉論	矢島雅子	現在、障害のある人々は安心して地域で暮らすことができているのでしょうか。本日の授業テーマは「戦前・戦後の障害者福祉」です。障害のある人々はどのような立場に置かれてきたのか取りあげます。そして、障害のある人々を支えるために社会はどのような取組みをしてきたのか学びます。

●心理学科

講時	授業科目	担当教員	概要
1	教育心理学概論	松島るみ	子どもたちがどの様に発達、学習し、学校の中でどのような課題を抱えているのかを心理学的な視点から理解していく科目です。また教師は子どもたちにどの様に知識を与えていけば良いのかや、教師のリーダーシップ、学校での対人関係についても学びます。
2	発達検査論	高井直美	子どもの発達の遅れや偏りが気になる場合は、まず発達検査を通して、その子どもの心理的特徴について理解することが大切です。乳幼児健診などで使われる代表的な検査について、検査用具に実際に触れながら理解し、現場での活かし方を考えます。
3	現代社会調査演習Ⅱ	尾崎仁美	日頃何気なく回答しているアンケートなどの調査には、さまざまな工夫が凝らされています。この科目では、調査の企画から実施、データの分析、報告書作成まで、体験的に学習し

			ます。オープンクラスでは、収集したデータを分析し、結果をわかりやすく表現する方法について考える予定です。
4	推測統計学ⅡA	松島るみ	心理学では「1組より2組は平均点が高い」とか、「このダイエット方法は効果がある」といったことを証明できる方法として「心理統計」を学びます。この科目では、やさしい言葉と豊富な実例を通して、その意味を理解します。
	臨床相談演習 (人数制限あり)	三好智子	将来、心理カウンセラーなどの専門職に就きたい人のため、心理テストや心理面接の方法について学ぶ上級編の科目です。実際に相互にテストをとってみたい、ロールプレイを行ったりすることで体験的に学びを深めていきます。

●こども教育学科

講時	授業科目	担当教員	概要
2	社会科指導法	大西慎也	先人が行ってきた授業事例に学びながら、教材研究、単元づくりを行い、社会科の授業づくりと学習指導案の作成方法を理解することをねらいにしています。模擬授業を実践し、授業内容と共に発問、板書についても学びます。より実践的に授業実践力を育てていきます。
	保育内容指導法（健康）	住本純	領域「健康」に関する内容をとおして子どもの心身の健康について理解し、保育実践の場で配慮すべき事柄について学習します。楽しい運動あそびの実践方法や工夫について、体験的に学習を進めていく授業です。
3	国語	工藤哲夫	小学校国語科の学習指導要領の内容を理解した上で、幼稚園・中学校の教育課程も考慮しながら、小学校国語科の授業内容を考え、実践的に学びます。
4	生徒指導・進路指導	江川正一	子どもたち自身が社会の中で、自己実現できるように指導・援助する方法を学びます。また、実際の事例を通し、学校の教育目標と生徒指導・進路指導の関連を学習指導要領上の位置づけの中で学びます。
	社会	大西慎也	小学校社会科で扱う内容である「地理的分野」「歴史的分野」「公民的分野」に関する社会諸科学の最新の研究成果についての知識を習得することを目標にしています。また、社会認識が空間軸・時間軸に応じて形成されることを、それぞれの分野の講義において事象を探究することをとおして理解してもらいたいと考えています。

●共通教育科目

講時	授業科目	担当教員	概要
4	キリスト教音楽入門	久野将健	詩編 98 には「新しい歌を主に向かって歌え。琴に合わせ、楽の音に合わせて。」とあり、「よく歌う人は倍祈ることになる」とも言われる。この授業では音楽を通してキリスト教精神を理解することを第一目標とする。授業において時代や国によって異なるキリスト教音楽の世界を紹介していきたい。さまざまな音楽を聴くことを通して、古今の音楽家がいかに神と向き合い、作品として表現したのかを考える。頭だけの理解にとどまらず、自分自身の感覚で音楽を感じてほしい。また聖歌を歌う練習も授業内で行う。

